

JR連合「あるべき労働組合像」 労働組合版「あるべき姿」か!?

JR連合は4月13日付新聞号外で、「あるべき労働組合像・労使関係像」と題した職場討議資料を発行しました。

それによると、JR連合があるべき労働組合像・労使関係像を示し、民主化闘争を訴え、JR連合の組織拡大を図るといふものです。そして、いくつかの項目が列記されています。

特徴的には、①JR総連は暴力集団であり、JR連合の民主化闘争を完遂させる。②規律を守り、会社の発展に協力せよ、といふものです。

具体的な反論は次号にまわすとして、なぜJR連合はこんなものを出したのでしょうか。時期的には、反弹圧関係の裁判が大詰めを迎える時です。権力の弾圧に与している側からすれば、もっとダメ押し的に弾圧に協力しなければならないのでしょうか。一方、JR東海が「あるべき姿」を発表してから3年、その成果を真似したのでしょうか？それとも、成果が出ず、労働組合側からもゴシゴシあるべき姿の人間をつくらうとでも思っているのでしょうか？あるいは、誰かに書かされたのでしょうか？いずれにせよ、これを武器にJR総連を破壊しようとしていることだけはハッキリしています。

このあるべき労働組合像・労使関係像は、なるほど養殖組合らしさを表現しています。主体は会社の発展であり、組合員の利益ではありません。内容も矛盾だらけです。JR東海ユニオン組合員の皆さん、鵜呑みにするとバカを見るのは自分たちです。

〈次号に続く〉

ど
こ
か
の
会
社
の
あ
れ
に
似
て
い
ま
せ
ん
か
？